科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
精神看護学実習	前後期	3年	必修	2単位	90h

担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー
◎田﨑知恵子、遠藤りら、星野正和	chieko.tazaki@tohto.ac.jp	月～金曜日（10時～16時）事前にメールでアポイントを取ること

授業の概要

精神疾患を有する患者を受け持ち、有する症状に対しての個別性のある看護の展開を学ぶ。また、入院から退院までの流れの中における他職種連携について理解し、看護師の役割や機能について学ぶ。さらに、地域で生活する精神障がい者に対する訪問看護やデイケアなどの社会資源の役割について学ぶ。※この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。

キーワード	到達目標
バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ストレングス リカバリー クリティカルシンキング 相互作用 専門的援助関係 地域生活支援	1．対象者の捉え方 個人又は家族、組織、社会の一員として捉え、生物学的・心理学的・社会的側面からストレングスも含めたアセスメントを通して、全体像を捉えることができる。 2．クリティカルシンキングに基づく看護過程の展開 クリティカルシンキングに基づき、現象を多面的に捉えアセスメントし、リカバリーに向けた援助を探り、実践することができる。 3．相互作用の活用 相互作用を活用しながら、他者理解・自己理解を促進させ、専門的援助関係を築くことができる。 4．精神保健医療福祉におけるチームアプローチと看護師の役割 精神保健医療福祉における各職種の役割を知り、調整・協働・連携における看護師の役割を考察できる。 5．地域生活における社会資源の役割 さまざまな精神の健康レベルの対象者が、地域で生活していくための社会資源と対象者のストレングスを理解し、対象者やその家族に必要な援助を考察できる。

学習内容

【実習方法】
1）精神に疾患や障害を有する人々を受け持ち、看護を展開する。
2）自身と患者との相互作用の現象をプロセスレコードに起こし、自己理解、他者理解、相互理解を深め、専門的援助関係の在り方を考察する。
3）作業療法やレクリエーション活動への参加と集団への治療的アプローチを実践する。
4）地域で生活する精神障がい者が必要とする社会資源とストレングスを理解し、必要な援助を考察する。

受講要件

2年次後期までの学年進度とされているすべての必修科目の単位を修得していること。

レポート	その他	合計
0%	100%	100%

教員からのメッセージ

【評価方法（その他100%について）】
実習評価表に沿って、日々の看護実践、カンファレンスでの学びの発表、実習記録等を基に評価します。
皆さんが実習の目標を達成できるように、教員がサポートしていきます。